

デザイン担当ではこんなご相談を受けています

「これからはますますデザインが重要になりそう」「他社の製品と差をつけ、明らかなアドバンテージを得るためにはデザインが不可欠か」と感じられたことはありませんか。

「でも実際にどう進めたらいいのだろう」「自社に合ったデザイン活用の内容や方法は」「デザイン料ってどれくらい必要なのか」「その費用でどれだけのことをやってくれるのだろう」「そもそもデザイナーをどうやって探し、何を基準に選べばいいのだろう」。そんなときには当センターにご相談ください。



● まず、これまでお受けしたデザイン相談の傾向と共通するポイントをご紹介します。

1) さまざまな業種からの相談を受けています

デザインというと生活雑貨や日用品、服飾関連や小売業などが中心と思われがちですが、最近は請負加工や受注生産がメインのものづくり企業、部品メーカーや機械メーカーからの相談も増えています。さらには農業や加工食品、地域の活性化など幅広い分野からの相談も受けています。

2) きっかけは「見た目を良くしたい」から、だけど

初めてデザインの必要性を感じて相談に来られた企業さんの多くは「この製品をもっとかっこよくしたい」「このパンフレットをもう少しきれいにしたい」と強く思われたことがきっかけになっています。

でもセンターに来られてお話を聞き、あれこれ質問し確認していくうちに、「え、なんでそんなことまで聞くの?」「デザインするのにどうしてそれが関係あるの?」と疑問を持たれ、その理由を説明するとようやく納得いただいて、じつは見た目をどうこうするより先に、考えねばならないこと、整理しておかなければならないことなどが見えてきます。そこから「デザイン」なんだと理解いただいて、本当の意味でのデザインが始まります。

3) まずは問題の本質を明らかにするところから

デザインを単に見た目、装飾的なものという感覚で取り組んでしまうと、その効果が得られないばかりかデザイン不信に陥ってしまい、せっかくのデザイン活用の機会を逃してしまうことにもなりかねません。

デザインは、まず問題の本質を発見するところで威力を発揮し、さらにそのソリューションを考えていく上でも有効に働きます。モノのデザインとコトのデザイン。色や形の問題だけでなく、ブランディングやコンセプトづくり、そのための「見えない問題」の発見などにも「デザイン」の考え方やアプローチは役立ちます。

● 次に相談事例のご紹介です。ただし、守秘義務がありますので、実例を元に創作したものです。

事例-1) パッケージの図柄がほんとにダメなのか?

地元の仕出屋さんが販売している鯖寿司。肉厚の鯖を使ってボリューム満点、1本3,000円はかなりのバーゲン価格なのにあまり売れない。これは包装紙の図柄がイマイチなのが原因だと思っているので、もう少し良いデザインにしたい、というご相談。

包装紙のリニューアルを考えるにしても、主な購入対象者(ターゲット)を、どんな暮らしをしている、どんな年齢層の人とするかによって方向性が変わってきます。なので、中心となる顧客像を明らかにするためにいろいろ質問していると、どうも年配のご夫婦や一人暮らしが多い。ということは、いくらバーゲン価格でも、1本買うと多すぎる、食べ切れないから買わないのではないかと推論し、食べ切りサイズも用意してはどうかという提案をしました。

その後、1,500円のハーフサイズも発売され、売れ行きは上々ということでした。

事例-2) 初めての自社製品、そのココロは?

これまでずっと受注加工を中心でやっているが、品質は当然で、値段と納期ばかりが求められる。以前から、他社には真似のできない魅力的な商品を開発して販売したいと考えており、自社の得意技術を活かして試作品を作ってみたので意見を聞かせてほしい、というご相談。

最初に作られたのは、親子で一緒になってデザートを作る道具で、用途の割にすごく手の込んだ精緻な仕上げがされていました。なぜこのアイテムなのか、というのを聞き込んでいくと、相談者自身も直感で作ってみたということで、明確な方針を定めておられるわけでもありませんでした。そして二作目は昔ながらの遊びをモチーフにしたゲーム、三作目は楽しい調理道具と、新たな試作品を見せていただくうちに、そこに共通している要素に気づきました。「あなたは、親子、人と人との結びつきをフィジカルな場面であらためて深くするような商品を世に出したいのではないかと」。

相談者をご自分の行動の根本にあった思いを確認され、それに基づいて外部デザイナーと一緒にブランドコンセプトを構築し、個々のアイテムを開発。トータルなイメージを大切に販売されています。

デザインの活用について、相談したい、詳しく知りたいとお考えの際は、応用技術課デザイン担当へお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 デザイン担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail:design@kptc.jp